

# キャンパス ニライ

第86号

2018年 4月発行

放送大学

沖縄学習センター

TEL: 098 (895) 5952 FAX: 098 (895) 5953

〒903-0129 西原町字千原1番地

(琉球大学構内: 地域国際学習センター棟4・5階)



放送大学沖縄学習センター

## Contents

巻頭言「放送大学沖縄学習センターは、質の高いシンポジウムやフォーラムを通して 地域に貢献します」	沖縄学習センター所長 富永 大介	1
平成29年度第2学期 学位記授与式		2
卒業生・修了生からのメッセージ		3
学習センター客員教員 退任・着任		4
面接授業 追加登録のご案内		5
富永所長の特別公開講義のお知らせ		7
ゼミ開講のお知らせ		7
事務室からのお知らせ		9
「システムWAKABA」が新しくなりました!		10
大学本部からの放送教材郵送貸出について		10
「アドラー心理学入門講座」のご報告		11
「“安心・安全”のための地域マネジメント」フォーラムのご報告		11
沖縄学習センター 「体操サークル (旧フラサークル)」紹介		12

## 一巻頭言一

# 放送大学沖縄学習センターは、 質の高いシンポジウムやフォーラムを通して地域に貢献します

沖縄学習センター所長  
富永 大介

平成29年度には、沖縄学習センターでは、①「子どもは沖縄の宝だー立ち直り力（レジリエンス）を育てる地域の輪ー」、②「多職種連携で支える在宅医療・介護ー沖縄の地域医療の未来を考えるー」と、③「人と人がつながりあう“安心・安全”のための地域マネジメントーゆいまーる精神の再興で減災をー」という3つのシンポジウム・フォーラムを開催致しました。これらのイベントで取り上げたテーマは、現在の日本や沖縄にとって、真剣に取り組まなければならないものです。放送大学の学生の皆さんをはじめ、一般市民の方々に沢山参加して頂き大変盛況だったことに感謝申し上げます。

このような企画を立てるにあたって、たいいてい放送大学のシンポジウムやフォーラムでは女性の参加者が圧倒的に多いのですが、防災・減災がテーマとなった「“安心・安全”のための地域マネジメント」フォーラムでは、ほとんどが男性の参加者でした。その中には地域自治体活動のリーダー的存在の方々が多くおられました。このような企画をもっと増やしてほしいとの要望を頂きました。現在、沖縄学習センターの学生の三分の二が女性ですが、このような企画を立てると男性学生の増加が見込まれそうです。今後の企画設定の参考になりました。また、放送大学のシンポジウムやフォーラムは他に開催された同様なものよりも質が高いという評価も受けています。ありがたいコメントです。これらのイベントは地域の方々にも開かれておりますので、ぜひ興味を持って頂き、放送大学の学生となりさらに知見を深められることを期待しております。

ところで、放送大学の学生と雑談していると、勉強するにつれて、今までの自分とは違った視点で物事を捉えるようになったとよく聞きます。彼らにとって、勉強することは、若い大学生と違って、放送教材での学びが、ただ知識の獲得のみに終わっていないのです。勉強するにつれて、いつのまにか自分の思考回路が変わっていき、そして、仕事、家庭や社会問題を捉える際、今までの違いにふと気づくことがあるそうです。学びが、その人の人間的成長につながっていく。学ぶことでいつまでも人は成長する。放送大学学歌の歌詞の中に「生きることは知ること、知るとは喜び、知は力 よりよい生をひらくため」とありますが、まさに社会教育の重要な役割がここにあると思います。

今年は、上述した3つのシンポジウム・フォーラム以外に、①「まずは知っておきたいアドラー心理学」という座学講座と②「楽しいワークで学ぶアドラー心理学入門講座」というワークショップを開講しました。アルフレッド・アドラーについては、『嫌われる勇氣（岸見一郎・古賀史健編著）』がベストセラーになるなど話題性があります。心理学を学ぶ学生たちに、学問的見地からアドラーの理論とその実践について理解してほしいと思います。今年もこの続きになる講座を予定しております。皆様方のご参加をお待ちしております。

放送大学は、地域と社会人に関われた正規の大学です。各専門領域の第一線の講師の先生方が up to date な視点から自分の専門領域の知見を紹介します。また、約5年おきに放送教材は変わります。学生は常に最先端の知識を学ぶことができます。後は学生たちの学ぶ意欲と努力のみです。今年も沖縄学習センターと一緒に学びましょう。



平成29年7月「まずは知っておきたいアドラー心理学」公開講座



平成29年8月「子どもは沖縄の宝だ」公開シンポジウム



平成29年11月「在宅医療・介護」市民公開フォーラム



# 平成 29 年度第 2 学期 学位記授与式

平成 30 年 3 月 31 日 (土)、沖縄学習センターにて「平成 29 年度第 2 学期 学位記授与式」が行われました。今学期は、学部 35 名、大学院 1 名の方が無事に卒業・修了を迎えられました。

## 平成 29 年度第 2 学期卒業生

### 学部 (35 名)

#### 【人間と文化コース】

玉城 希  
當間 泰子  
野底 美千代  
平岡 風馬  
藤村 博子

#### 【情報コース】

新垣 栄樹  
玉城 園子  
玉城 俊博

#### 【自然と環境コース】

馬場 雄一郎  
福里 美奈子

#### 【心理と教育コース】

浅黄 早弓  
伊佐 淳子  
石神 和仁  
上江洲 正佳  
儀間 さくら  
崎原 菜摘  
玉城 正弘  
桃原 いずみ  
仲宗根 幸子  
仲西 理絵  
仲本 實

#### 【社会と産業コース】

島袋 春菜  
西方 順子  
屋嘉比 順子

#### 【生活と福祉コース】

相原 宏美  
石原 綾子  
大城 アヤ子  
大田 節子  
越智 あけみ  
金城 章  
島袋 恵  
高嶺 明佳  
西平 賀毅  
野田 英克  
牧村 泰慈

### 大学院 (1 名)

#### 【臨床心理学プログラム】

中村 綾希子



## 卒業生・修了生からのメッセージ

### 「19年間の放送大学生活」

 教養学部情報コース卒業 平成29年度名誉学生  
玉城 俊博

放送大学の学生生活は、長かったという実感はさほどありませんが、振り返ってみると、私の人生を豊かにしている素晴らしい出会いや思い出は山程あり、放送大学と出会えたことを幸運だったと感謝しております。

私は19年前に大学の科目を学びたいという思いで放送大学に入学しました。全国から選ばれた教授陣によるあらゆる分野の科目を数多く揃え、さらに学習を支援するあらゆる条件を備えた理想的な学びの場である放送大学に魅せられて、81歳になった現在も学生生活を続けさせていただいております。これからも、より豊かな人生を送るために可能な限り続けていきたいと思っております。また、私は視聴学習室での学生の真摯な学習姿勢に刺激されて学習意欲が高揚した時期には1学期で26単位を修得しましたが、意欲のしぼんだときは1年間に1単位も修得することができないこともありました。学習意欲がしぼんだときはつまらない時間が過ぎていきますが、先生方、職員、学友との出会いの中で心は活性化し、学習意欲が復活し、学ぶ意欲が自然に甦り学びを続けてきました。放送大学は学び心を刺激し、学習意欲を維持できる環境を有しているのが大きな魅力の一つでもあります。

それから、私が大学生であり続けている目的の一つは、81歳の私が学び続ける事によって一人でも多くの方が放送大学で学ぶ喜びを理解し、一人でも学生が増えてもらいたいからであります。幸いに富永大介先生が沖縄学習センター長に就任されてから、富永センター長はじめ職員のご尽力により着実に学生増を実現し、本部からその業績が高く評価され2年連続表彰状を授与されたことは県民にとって大きな喜びであります。

これからも、最も学習環境の整った放送大学の学生数を一人でも多く増やしていただき、県民割合の学生数日本一の学習センターにして、沖縄の豊かな未来を切り開いていただきますよう祈念いたします。



◆玉城さんは沖縄学習センターで初めて教養学部6コース全てを卒業され、学長より名誉学生の称号が付与されました。



### 「さらなる学びのスタート」

 大学院文化科学研究科臨床心理学プログラム修了  
中村 綾希子

私は約10年前に臨床心理専攻の学部を卒業して以来、常に「より専門的な学びを深めたい」という思いを持ちながら教育の分野で支援職や相談職として働いてきました。家族も仕事もありながら、私の学びへの思いを叶えられるのは放送大学であると受験を決め4月からは非常勤の仕事しながら平日の家族の居ない時間を学習の時間に当て、ひたすらインプットとアウトプットを繰り返しました。

入学してからの2年間は本当にあっという間で、不思議なことに大変だったという記憶が一つもありません。大学院で履修すべき単位を入学前にほぼ履修し終わっている同期も数名いる中で、修得単位ゼロの状態から必修科目の学習に単位認定試験、年に3回のスクーリング、臨床現場での実習、月に1回の修論の指導、研究調査どれもが充実した時間でした。まさに新しい学びが得られる喜びに満ちた2年間だったと感じています。特に、修士論文は書かなくてはならないものだから書くのだと思っていた私が素晴らしい先生に恵まれ、自分の探求したいことをじっくり研究できる喜びを知ったことは大きな収穫です。通信制の大学院ということで一人コツコツと学ぶ姿を想像していましたが、それは大きな間違いでした。初めてのスクーリングで全国から集まった30人の同期の方々はそれぞれが様々な分野で活躍する方ばかりでお互いの分野での経験や知識、考え方を直接交わせる濃厚な時間を過ごし、すぐに同志になりました。日々の学習や仕事で行き詰った時にも何度も助けてもらい、このような大切な仲間に出会えたことも放送大学大学院で得られた一生の宝物だと思っています。これまでの学びを支えて下さった職員の皆さま、ご指導を頂いた多くの先生方、一番近くで応援してくれた家族、これからも共に学び合う仲間感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。学びは一生続きます。今後も放送大学で得た学びを元に、さらなる研鑽を積んでいきたいと思っております。



◆学位記授与式で挨拶をする中村さん



# 学習センター客員教員 退任・着任



## 退任

### 「退任の辞」

泉 恵得 先生

琉球大学名誉教授 専門：声楽・指揮法・音楽史



「仰げば尊し」と言う歌の中に出て来る言葉、『思えばいと疾し、この年月』の様に、はや5年の星霜が流れ去った。時の大河に棹さして留める事は、なんびとにも出来ないが、それにしても、年々歳々時の過ぎ行く速度が増してくるのを感じては、愕然とする。学生の皆様とはこの5年間、数度の面接授業や、毎学期のゼミで親しく交わり、一緒に勉強する事が出来て、とても楽しかった。又、何回か私の家に学生を招待して、粉から作る手打ちパスタやミラノ風・魚のカツレツ、豚肉料理、泉ポーポーなど、皆でワイワイ言いながら料理を作り、ワインを飲みながら食べたのも、とても愉快的思い出である。

私は、5年前の3月に琉球大学を定年退官した後、その4月から放送大学に赴任して来た。最初に感じたのは、学生の勉学への熱意と意欲であった。琉大の学生の中には、授業が始まった途端に居眠りするのもいた。それに反して放送大学では、一度として居眠りする学生を見た事が無いばかりか、じっと瞳を凝らして私の顔を見て授業を受けている。面接授業では、西洋音楽や琉球音楽、発声法や呼吸法、童謡唱歌などを講義したが、学生の興味を一番惹いたのは、矢張り琉球音楽だった。「オモロ」を皆で歌ったのがとても印象に残っている。仕事と勉学の両立は大変でしょうが、是非全学生が卒業する事を<sup>こいねが</sup>冀っています。

## 退任

### 「時を超える言葉」

中野 拓治 先生

琉球大学農学部教授 専門：農村環境保全工学



放送大学沖縄学習センター客員教員として5年間お世話になりました。富永大介所長、宜保清一前所長の下でセンターの職員の皆さまとともに、面接授業やゼミ等を通じて、週1回の勤務ながら多くの学生さんと有意義な学園生活を送ることができました。ありがとうございました。

千二百年前に遣唐使として唐に渡った空海を主人公とする日中共同映画『空海—KU-KAI—』が公開されています。空海の詩文の一節に、「山川は長くして万世なり、人は短くして百年なり」(性霊集)があります。大意は「山や川の命は永遠だが、人の命は長く生きてもせいぜい百年。大自然の営みに比べれば、人間の存在などなんとも小さいものだ。しかし、ちっぽけだからと自らの命を決して無駄にすることなく、永遠の真理を求めようではないか」です。この空海言葉は、短くとも憂きことの詰まった人の一生だからこそ、本当の豊かさは世間の価値観や私利私欲を超えたところからはじまる。そんなことを、千年の時空を超えて私たちに教えてくれているかのようです。

放送大学で学ぶことを決められた学生さん、職場や家庭環境等で様々な制約がある中で、学業を成就した時の達成感と学ぶ喜びを経験されることは大きな財産であり、多くの困難を克服して唐で仏教を学んだ空海の生き方にも通ずるものがあります。放送大学の学生の皆さんには日々の行動において、「ポジティブ・シンキングとネガティブ・シミュレーション」を心掛けながら、学園生活を実り多いものにして頂ければと存じます。沖縄学習センターの皆さまに感謝申し上げますとともに、沖縄学習センターの益々の発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

## 着任

東矢 光代 先生

琉球大学法文学部教授

専門：応用言語学・英語教育学



ハワイ大学マノア校修士課程修了、日本大学大学院総合社会研究科修了(博士号取得)。平成8年琉球大学教養部専任講師、平成20年同大法文学部准教授を経て平成25年より教授、現在に至る。英語立県沖縄推進戦略事業 小中高大連携委員会委員。外国語教育メディア学会(LET)機関誌(全国紀要)編集委員。

## 着任

大湾 知子 先生

琉球大学医学部准教授

専門：成人看護学・感染看護学  
尿失禁看護学



琉球大学大学院医学研究科博士課程修了(博士号取得)。平成9年琉球大学医学部保健学科講師を経て平成19年より同学科成人・がん看護学准教授、現在に至る。附属病院の院内感染対策専門看護師、泌尿器科外来尿失禁専門看護師兼任。沖縄県ICNネットワーク勉強会世話人代表、沖縄県インフェクションコントロール研修会世話人代表。



面接受業時間割表  
(授業内容・登録申請書)

## 面接受業 追加登録のご案内

面接受業は、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。放送授業では経験できない実験等の講義や、地域に密着した講義もあり、他の学生と共に学ぶ楽しさを共有することができます。

4月14日(土)に空席数を確認し、どの科目を追加で受講したいかご検討ください。空席数が少ない科目は抽選になる可能性が高いので、事前に郵送で申請するか、追加登録受付初日の4月20日(金)に学習センター窓口へお越しください。(午前9時45分集合)



### 平成30年度 第1学期 追加登録対象 面接受業

授業日	科目名	担当講師	定員	科目区分 科目コード	登録受付期限
5月12日(土) 5月13日(日)	近代政治思想史	山岡 龍一	50	専門：社会と産業 2502313 (K)	5月5日(土)
5月12日(土) 5月13日(日)	沖縄における津波災害と その対応	仲座 栄三	50	総合科目 2502364 (K)	5月5日(土)
5月19日(土) 5月20日(日)	攻撃性の心理学	大淵 憲一	50	専門：心理と教育 2502291 (K)	5月12日(土)
5月26日(土) 5月27日(日)	基礎英語	山城 綾子	30	基盤：外国語 2502224 (K)	5月19日(土)
5月26日(土) 5月27日(日)	核物理学の初歩と 今日の核問題	松井 哲男	50	専門：自然と環境 2489481 (K)	5月19日(土)
6月2日(土) 6月3日(日)	南島考古学	上原 静	40	専門：人間と文化 2502321 (K)	5月26日(土)
6月2日(土) 6月3日(日)	<b>追加</b> 心理検査法基礎実習	田中 寛二	30	専門：心理と教育 2490242 (L)	5月26日(土)
6月9日(土) 6月10日(日)	心理検査法基礎実習	田中 寛二	30	専門：心理と教育 2490242 (K)	6月2日(土)
6月9日(土) 6月10日(日)	「おもろさうし」を読む	照屋 理	50	専門：人間と文化 2502330 (K)	6月2日(土)
6月16日(土) 6月17日(日)	韓国語でおもてなし	長嶺 聖子	35	基盤：外国語 2502232 (K)	6月9日(土)
6月16日(土) 6月17日(日)	心理学実験2	土田 幸男	20	専門：心理と教育 2497760 (K)	6月9日(土)
6月23日(土) 6月24日(日)	哲学の基本問題	浜崎 盛康	30	専門：人間と文化 2502348 (K)	6月16日(土)
6月23日(土) 6月24日(日)	<b>追加</b> 心理学実験2	土田 幸男	20	専門：心理と教育 2497760 (L)	6月16日(土)
6月30日(土) 7月1日(日)	易しい統計学	中野 拓治	30	基盤 2502216 (K)	6月23日(土)
6月30日(土) 7月1日(日)	ネットワークの基礎知識	葉田 善章	50	専門：情報 2502356 (K)	6月23日(土)
7月7日(土) 7月8日(日)	高齢期の生活と福祉	山田 知子	30	専門：生活と福祉 2502275 (K)	6月30日(土)
7月7日(土) 7月8日(日)	学校教育をめぐる 最新動向	大城 進	40	専門：心理と教育 2502305 (K)	6月30日(土)
5月19日(土) 5月20日(日)	<b>石垣</b> イメージ心理学実習	佐藤 仁美	40	専門：心理と教育 2502283 (K)	5月12日(土)
6月2日(土) 6月3日(日)	<b>石垣</b> 精神医学基礎論	石丸 昌彦	40	専門：生活と福祉 2501074 (K)	5月26日(土)

**注意** 各科目、受付期限の前でも定員に達し次第締め切りとなります！

## 授業料・単位数について

1科目あたり

授業料	5,500円
単位数	1単位

全科履修生は、卒業要件として面接授業またはオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、興味のある内容の面接授業を受講することができます。

## 講義時間について

沖縄学習センターの面接授業は、1回1時間25分の授業を1日4回、連続する土日の2日間で計8回行い、1つの科目が終了します。

	1時限 (10:00~11:25)	2時限 (11:35~13:00)	3時限 (13:50~15:15)	4時限 (15:25~16:50)
土曜日	第1回	第2回	第3回	第4回
日曜日	第5回	第6回	第7回	第8回

## 面接授業の追加登録方法

空席発表

**4月14日(土) 12時** ご希望の科目に空席があるかご確認ください。

学習センター掲示板に貼り出します。  
キャンパスネットワークホームページからも確認できます。



事前申請  
(郵送のみ)

**4月18日(水) 必着** (現金書留でお送りください)

郵送申請  
受付



※窓口受付不可

郵送申請に必要なもの

- 追加登録申請書 (面接授業時間割表冊子の巻末  
または、キャンパスネットワークホームページよりダウンロード)
- 授業料 (5,500円)  学生証のコピー  82円切手を貼った返信用封筒

宛先：放送大学沖縄学習センター

追加科目登録  
(窓口・郵送) 受付期間

**【抽選】** 4月20日(金) 午前9:45時点で空席数を超える申込があった科目

①事前申請(郵送)受付分 + ②4/20(金)当日受付分

を対象に、公正に抽選を行い、受講者を決定します。

(場所：沖縄学習センター4階 事務室窓口)

【注意】9:45~申込受付、10:00に抽選いたします。

(時間を過ぎた方は受付できません)

→当選された方は、そのまま授業料納付の手続きを窓口にて行ってください。  
郵送申請された方には、抽選の結果をセンター職員よりご連絡いたします。

来所申請に必要なもの 追加登録申請書 授業料(5,500円/1科目あたり) 学生証

**【先着順】** 申込が定員に達していない科目 授業の一週間前まで申請受付

抽選日以降、なお空席がある科目については引き続き、科目ごとの申込期限日まで窓口・郵送にて受付登録を行います。

## 単位認定について

面接授業への出席状況(全講義出席を前提)を満たしたうえで学習状況(試験・レポートの成績等)が良好な場合に単位が与えられます。評価は、「合」又は「否」の評価で表し、「合」の場合に1単位が認定されます。

## 富永所長の特別公開講義のお知らせ

沖縄学習センター所長の富永大介先生による一般公開の特別講義を通年、シリーズ4回で開講します。

### 「脳の成長と心の発達」 場所：沖縄学習センター5階



富永 大介 所長

- 第1回【6/2(土) 10:30~12:30】生涯発達の捉え方/胎児期・乳児期の脳と心の発達
- 第2回【7/14(土) 10:30~12:30】幼児期・児童期・思春期・青年期の脳と心の発達
- 第3回【9/15(土) 10:30~12:30】成人期・中年期(前期・後期)の脳と心の発達
- 第4回【11/17(土) 10:30~12:30】高齢期(前期・後期)の脳と心の発達

各回完結  
申込不要

人間は人生という時間軸に自己の出来事を紡ぎながら生きていく。同じ経験をしていても若いときと年をとったときでは受け止め方が全く異なる。人間は脳と心を変化させながら生きていくものである。この4回シリーズの特別講義では、各発達段階の精神の発達の特徴とそのときの脳の変容過程について見ていく。脳の発達が心の発達を規定することもあれば、その逆もあり、脳と心は相補的な関係で変化するものである。受講者の皆さんにとっては、過去の自分を顧みると同時に、今の自分、将来の自分の生き方を模索する際の貴重なヒントを得る機会となるに違いない。

## ゼミ開講のお知らせ

平成30年度第1学期も、沖縄学習センター客員教員の先生方による無料のゼミを開講いたします。

それぞれのフィールドで活躍され、大学で教鞭をとってこられた各先生方の専門分野に一步近づく絶好のチャンスです。ご参加お待ちしております。

受講料 無料

場所 沖縄学習センター5階

定員 各ゼミ10~20名

■申込受付期間：4月17日(火)~各ゼミ開講の1週間前まで

※学習センター窓口またはお電話(895-5952)にて受付いたします。



**火曜日 15:30~17:00** 場所:5階 小講義室 5月8日、15日、22日、29日、6月5日



平田 幹夫  
先生

子どもを支援するための「家族・学校」臨床心理学

全5回  
定員10名

私たちは、すべての子どもが幸せであって欲しいと願っている。しかし、現実には、いじめや不登校、虐待等の様々な問題等で不適応を起しながらも、どうにかして立ち直りたいともがいている子どもがいる。そのような子どもに支援の手を差し伸べることができるのは、学校であり、家族である。そこで、本ゼミにおいては、教師や保護者が子どもにどのように寄り添った支援を行えば良いのかについて議論をしていきたい。

**木曜日 14:00~16:00** 場所:5階 小講義室 6月7日、14日、21日、28日



島袋 恒男  
先生

子どもの学びと成長ゼミ

全4回  
定員10名

教育発達心理学の基本を踏まえながら、沖縄県の児童生徒の学びの特長と問題点を検討し、心理的発達について考える。

1. 児童生徒の学びと意欲
2. 中高校生の成長と将来展望
3. 大学生・青年期の発達と病理

**土** 曜日 10:30~12:00 場所:5階 小講義室 5月26日



仲座 栄三  
先生

**自然現象は数字でどのように表現されるか?**

1 回完結  
定員 20 名

ピタゴラスは、自然現象が数学をもって表されることに気づき、そしてそれが数学的に証明できることにも気づいた。例えば、川の流れ、海の波、潮の流れ、空気の流れ、台風、洪水、津波等々、私たちの身の回りに起きる自然現象の多くは、数学をもって書き表される。その結果、未来に起きることの予測や過去に起きたことの推測が可能となる。数学によって自然現象が表されるというのは、実に不思議なことである。これまで、我々は数学を学ぶのに多くの苦勞を強いられてきた。だが、それがもたらす恩恵を知るならば、その難儀さは感動へと変わる。

**日** 曜日 10:30~12:00 場所:5階 小講義室 5月13日、20日、27日、6月3日、10日



藏根 美智子  
先生

**『豊かに表現すること』について考える**

全 5 回  
定員 15 名

平成 29 年度は、「読書活動」「社会教育に NIE（新聞を教育に）」について考えた。30 年度前期は、さらに読書・NIEを深め、言葉で豊かに表現する（話すこと 書くこと 読み聞かせする）ことなどについて考えたい。『生きるとは表現そのものである』。

**日** 曜日 15:00~17:00 場所:5階 実習室 8月12日、19日、26日、9月2日、9日



米盛 徳市  
先生

**Excel 表計算ソフト入門 3**

全 5 回  
定員 15 名

「分かりやすく、ていねいに、ゆっくりと」をゼミのモットーに、初歩から始めたい人にも易しく教えてます。前期に参加された方も、ぜひ一緒にまた学習しましょう。お待ちしております。

**平成 30 年度沖縄学習センター所属 客員教員（学習相談・ゼミ・面接授業）**

曜日	相談対応日時	担当教員	専門分野
火	11:00~15:00	大城 進（宜野湾市教育委員会教育委員）	教育指導・教育管理・物理教育・理科教育
火	15:00~18:00	平田 幹夫（琉球大学教育学部教授）	学校臨床心理学
水	13:00~17:00	等々力英美（琉球大学地域連携推進機構客員准教授）	公衆衛生学・栄養疫学
木	10:00~13:00	仲座 栄三（琉球大学工学部教授）	環境防災工学・海岸工学
木	13:00~17:00	島袋 恒男（琉球大学名誉教授）	青年発達心理学・キャリア教育
金	11:00~14:00	東矢 光代（琉球大学法文学部教授）	応用言語学・英語教育学
土	13:00~17:00	大灣 知子（琉球大学医学部准教授）	成人看護学・感染看護学・尿失禁看護学
日	10:00~14:00	藏根美智子（前 沖縄市立室川小学校長）	国語教育・教育行政
日	14:00~18:00	米盛 徳市（琉球大学名誉教授）	教育工学・経営工学・情報工学



# 事務室からののお知らせ

## ♣ 学習センターの利用について

学習センターは、面接授業（スクーリング）や学習相談、単位認定試験、放送授業の視聴、図書閲覧・貸出などが行われる学習の拠点です。また、学生さんが教職員や学友とふれあうことのできる大切な場でもあります。自由に勉強ができるスペースもありますので、積極的に活用してください。

【事務室】



- 学習相談
- 証明書発行 等

【視聴学習室・図書室】



- 放送授業の視聴
- 図書の閲覧、貸出

【学生控室・テラス】



- 休息、談話、飲食 等

### センター利用時間

#### 【通常期間】

火～金 10:00～18:30

土・日 9:30～18:00

#### 【単位認定試験期間】

期間中 8:30～18:30

#### 閉所日

月曜日・祝日・年末年始

## NEW 視聴学習室の利用について

視聴方法のインターネット移行にともない、視聴学習室に放送授業視聴専用のパソコンが9台導入されました。このパソコンは、使用可能な機能が放送授業の視聴のみに制限され、インターネット検索やメールの閲覧、WordやExcelなどソフトの利用はできないようになっています。これまでの、CD・DVDによる室内視聴用の機材も今年度中は設置しておりますので、インターネット視聴、CD・DVD視聴、どちらも利用可能です。



## ♣ 学生証・車両入構証

### 学習センター窓口でのお手続きをお願いします！



#### 【学生証】

新入生の方…入学許可書をお持ちになり、学生証をお受取りください。  
在学生の方…有効期限が切れた学生証と引き換えに、お受取りください。



#### 【車両入構証】

大学構内で駐車場を利用するための入構証です。  
学生証と同じ有効期限ですので、期限が切れた方は更新をお願いします。  
手続きの際、車両ナンバー・運転免許証番号の記入が必要です。

## ♣ 通信指導の提出

放送授業の科目では、全15回のうち8回目までの内容について、学期の途中に担当教員の添削指導を受けることになっています。郵送またはインターネットで、必ず以下の期間内に本部宛に提出してください。



WEB : 2018年5月17日(木)10:00 ~ 6月7日(木)17:00

郵送 : 2018年5月24日(木) ~ 6月7日(木)必着



**重要!** 通信指導に合格しないと、学期末の単位認定試験を受験することができません。

# 「システムWAKABA」が新しくなりました！

このたび、放送大学の教務情報システム「システム WAKABA」と「キャンパス・ネットワーク・ホームページ」が統合し、新しい「システム WAKABA」にリニューアルしました。これまで、違うシステムから利用していた授業視聴や通信指導の提出、成績の確認などを一つに統合することで、さらに利用しやすくなりました。



※イメージ画像

### ■学内リンク

放送授業視聴、オンライン授業学習、WEB 通信指導提出、単位認定試験の過去問題閲覧などをおこなうことができます。

### ■教務情報

学生カルテ確認、コース変更・住所変更・受験センター変更等の手続き、継続入学申請、科目登録申請などをおこなうことができます。

### ■授業サポート

履修科目、またはゼミについて教員からの連絡、共有ファイルのダウンロード、教員への質問投稿・回答確認をおこなうことができます。

### ■キャンパスライフ

大学・学習センターからの連絡確認、学習のスケジュール管理、各種届出様式ダウンロードなどをおこなうことができます。

### ■学生メール (Gmail)

学生全員にメールアドレスが割り振られ、在学中の連絡手段としてご利用いただけます。大学からののお知らせもお送りします。

※ログイン ID・パスワードは入学許可証でお知らせしています。  
 ※在学生の方はこれまでと同じ ID・パスワードになります。

## <4月開始> 大学本部からの放送教材郵送貸出について

### ■沖縄県在住の学生の場合

・13日間、3巻まで（郵送にかかる期間を含む。）

### ■申込方法

郵送 / FAX / インターネット

①申込用紙に記入・郵送。（「学生生活の葉」巻末様式 19、A4 拡大コピーまたはシステム WAKABA「キャンパスライフ」からダウンロード）※A4サイズの申込書は学習センターにも用意します。

\*送料分の切手を同封してください。

郵送/申込時に用紙に添付 FAX・WEB/教材返送時に同封

②大学本部から発送（申込受付順）

③視聴後、大学本部へ返却（本部から同封された申込書コピーと一緒に返送）

◎第四種郵便（通信教育用）切手料金の目安  
 DVD・CD 共通 1～2枚：25円、3枚：35円

### 〈申込先〉

郵送 〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-1-1  
 放送大学 学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当  
 FAX 043-298-4510  
 WEB [http://www.uj.ac.jp/hp/BorrowDVD\\_v01/](http://www.uj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/)

**重要!** 沖縄学習センターでの  
**放送教材貸出は廃止になりました。**

## 「アドラー心理学入門講座」のご報告

去る2月3日(土)、「楽しいワークで学ぶ アドラー心理学入門講座」を開催しました。講師には、アドラー心理学がご専門の向後千春先生(早稲田大学人間科学学術院教授)をお招きし、計4時間半の半日コースでじっくり学びました。

アドラー心理学は近年注目を集めており、関連書籍も多く出版されメディアにも頻繁に取り上げられています。沖縄学習センターでは富永大介所長が、昨年からアドラーと同世代の心理学者であるユングやフロイトとの考え方の違いなどについて、時代的背景を踏まえて理論の入り口を学ぶ公開講座やゼミを開講してきました。今回は、いよいよアドラーの理論をワーク形式で学ぶ講座ということで募集をかけたところ、定員の60名を大きく上回るお申込みをいただき、皆様の関心の高さを知ることとなりました。

講座では、まずアドラー心理学の理論について概要を学んだあと、参加者一人一人が自分の抱える人間関係の問題について思いをめぐらし、同じグループの人と話し合いながら問題の原因について考えるワークをおこないました。人はどの目標を最優先するかによってライフスタイルが異なるということで、その目安は「対人関係」、「課題達成」のどちらを優先するのか、またその目標を「受動的」あるいは「能動的」、どのような姿勢で実現しようとするのかによって特徴づけられるそうです。また、相手の行動・自分の感情にも「こうなってほしい」という目的があり、その期待を互いに裏切られることによって、怒りや悲しみの感情につながり、それが人間関係の問題へとつながっていくことがわかりました。講座はワーク形式ということもあり終始なごやかなムードで進み、参加者が積極的に意見を出しあう様子が見られました。



## 「“安心・安全”のための地域マネジメント」フォーラムのご報告

去る3月3日(土)、市民公開フォーラム「人とひとつながりあう“安心・安全”のための地域マネジメント—ゆいま〜る精神の再興で減災を—」を開催しました。今回は、自然災害への対策の中でも防潮堤の建設や建物の耐震化などハード面での防災ではなく、人々がつながりあうことで防災・減災につなげていくためのヒントについて考えました。

まず、リスクマネジメントがご専門の奈良先生(放送大学教授)は、阪神大震災や東日本大震災の経験をもとに、家族、地域、行政、専門家、マスメディアなど多様な主体が普段からつながりを持つことの大切さを強調されました。事前に家族で安全な避難場所を決めておき、いざという時に連絡を取り合わずとも各々がそこへ向かう、隣近所に声をかける、そのような信頼関係は急に築かれるものではありません。後半のパネルディスカッションでは、等々力先生(琉球大学地域連携推進機構客員准教授)が、東日本大震災の被災地での仮設住宅への入居の際、個人入居と比較して地域で集団移転したほうがその後の精神的ストレスや病気・認知症の抑制につながった“岩沼スタディ”を紹介、トラウマ治療がご専門の市井先生(兵庫教育大学教授)は災害が与える心的外傷について解説、つらい体験の中から前を向くためのステップを示されました。気象予報士の斎藤さん(NHK沖縄放送局)は、フォーラム前日に起こった西表島での地震のニュース映像から始まり、テレビ、ラジオ、インターネットとそれぞれのメディアが発信する情報の特性を把握して有効に活用することを勧めていました。フロアからの質疑応答も活発に行われ、有意義なフォーラムとなりました。



◆本フォーラムの様子は「放送大学スペシャル講演」としてBS放送大学チャンネルで放送予定(10月)



## ♪ さあ、みんなで楽しくステップを♪

上間 まり子

毎週金曜日の朝 10 時 30 分から 12 時 30 分までの 2 時間、サークル室で心地よい音楽に身をゆだねリラックスタイムを楽しんでいる**体操サークル**です。

体操サークルはフラサークルから名称を変更してから 1 年がたちました。フラサークルの期間（2008 年 9 月から 2017 年 3 月）はハワイアンフラを中心に踊っていました。体操サークルに変更後は、フラソングではなく夏川りみの「涙そうそう」や、BEGIN の「海の声」など身近な楽曲を使用して、創作ダンスを踊っています。フラのステップはそのままにして手話的な上半身の動きは、メンバーで知恵を出し合って仕上げました。

身体を動かすことの効用をメンバー同士で共有し、これからもいろんな運動（民舞、太極拳、ヨガなど）にチャレンジしていきたいと思っています。

さあ、軽快なステップで、心地よい汗をながして一緒に踊りましょう。そして、放送大学の学生生活を一緒に楽しみましょう。

新入生、在学生の皆さま、入会をお待ちしてまーす ♪



2017 年 4 月 30 日

体操サークルのメンバーは年に一度の学生交流会「学ぶ私たち」の集いの世話人をしています！

昨年度の様子 ↓ →



# スケジュール

April 4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	閉					
8	9	10	11	12	13	14
	閉					面接
15	16	17	18	19	20	21
面接	閉					面接
22	23	24	25	26	27	28
面接	閉					
29	30					
閉	閉					
May 5月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				閉	閉	閉
6	7	8	9	10	11	12
閉	閉					面接
13	14	15	16	17	18	19
面接	閉			通信指導 Web受付		面接
20	21	22	23	24	25	26
面接	閉			通信指導 郵送受付		面接
27	28	29	30	31		
面接	閉					
June 6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						面接
3	4	5	6	7	8	9
面接	閉			通信指導 提出期限		面接
10	11	12	13	14	15	16
面接	閉					面接
17	18	19	20	21	22	23
面接	閉					面接
24	25	26	27	28	29	30
面接	閉					

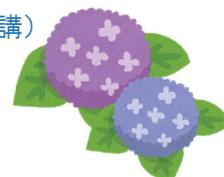
- 4月1日 放送授業開始  
集中科目履修生募集要項配布開始  
卒業研究履修許可通知 (4月中旬)
- 13日 夏期教員免許更新講習生受付開始 (Web)
- 14日 第1学期面接授業 空席発表
- 14日 面接授業 「健康と運動の科学」  
15日 「児童虐待の理解と対応」
- 20日 第1学期面接授業 追加登録受付開始
- 21日 面接授業 「コミュニケーション学入門」  
22日



- 5月1日 集中科目履修生 (看護・司書教諭)  
出願受付・科目登録開始
- 6日 臨時閉所
- 12日 面接授業 「近代政治思想史」  
13日 「沖縄における津波災害とその対応」
- 17日 通信指導 WEB 受付開始
- 19日 面接授業 「攻撃性の心理学」  
20日 【石垣】「イメージ心理学実習」
- 26日 面接授業 「基礎英語」  
27日 「核物理学の初歩と今日の核問題」



- 6月3日 面接授業 「南島考古学」  
4日 「心理検査法基礎実習」(追加開講)  
【石垣】「精神医学基礎論」
- 7日 通信指導提出期限
- 9日 面接授業 「心理検査法基礎実習」  
10日 「『おもろさうし』を読む」
- 15日 第2学期学生募集要項配布・出願受付開始
- 16日 面接授業 「心理学実験2」  
17日 「韓国語でおもてなし」
- 23日 面接授業 「心理学実験2」(追加開講)  
24日 「哲学の基本問題」
- 30日 面接授業 「易しい統計学」  
7月1日 「ネットワークの基礎知識」



## スケジュールの見方

閉

閉所日

面接

面接授業日



沖縄学習センター行事・大学本部関連スケジュール